

令和6年度第2回山口・防府医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

【日 時】令和7年2月4日（火）19:00～20:10

【場 所】オンライン開催

【出席者】出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、4つの医療機関を継続して選定した。
- かしだ産婦人科クリニックの病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画及び地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更について説明を行い、合意した。
- 村田外科胃腸科、小林眼科及び澤田医院の対応方針の変更について協議を行い、合意した。

1 紹介受診重点医療機関の選定について

県医療政策課から、紹介受診重点医療機関の選定について説明を行った。

協議の結果、山口赤十字病院、小郡第一総合病院、済生会山口総合病院及び県立総合医療センターを継続して選定した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

2 病床機能再編支援事業について（かしだ産婦人科クリニック）

県医療政策課から、令和6年度病床機能再編支援事業の実施を希望したかしだ産婦人科クリニックの単独病床機能再編計画及び対応方針（2025プラン）の変更について説明を行った。

かしだ産婦人科クリニックの計画では、医療需要を踏まえた適正な病床規模への見直しにより、感染症対策及び患者サービスの向上を図ることで、引き続き、地域における産科医療体制を維持していくことが説明された。

協議の結果、かしだ産婦人科クリニックの単独病床機能再編計画及び対応方針の変更について合意した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

3 対応方針（2025プラン）の変更について（村田外科胃腸科、小林眼科及び澤田医院）

県医療政策課から、以下のとおり3つの有床診療所の対応方針の変更について説明を行った。

村田外科胃腸科は、将来の医療需要を見据え、医療資源をより効率的に活用するため、急性期病床の一部を削減し、引き続き、手術後の管理及び急性期治療に係る入院機能を維持していくこと。

小林眼科は、将来の医療需要を見据え、医療資源をより効率的に活用するため、無床診療所へ移行し、引き続き、近隣の医療機関と連携しながら白内障手術をはじめとした日帰り手術等に対応していくこと。

澤田医院は、開設者死亡のため、別の医師が医院を引き継ぐとともに無床診療所へ移行し、引き続き、阿東地域の診療に携わっていくこと。

協議の結果、これらの医療機関の対応方針の変更について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

4 新たな地域医療構想に関する国の検討状況について

県医療政策課から、国が公表した「新たな地域医療構想に関するとりまとめ」について説明を行った。

(主な意見・質問等)

○ 国のとりまとめでは、二次医療圏の設定に当たっての考え方についても記載があるため、それらを踏まえて、第8次計画の中間見直しや第9次計画策定の際には、本県の二次医療圏の見直しの検討をお願いしたい。

○ 若い精神科医の確保が難しいことから、精神科についても救急医療体制が逼迫している状況である。身体合併症を有する患者については、大学病院や総合病院等において初期診療を行った後に精神科病院に転院搬送するなどの連携が大切ではないかと考える。

5 かかりつけ医機能報告制度について

県医療政策課から、令和7年4月から施行される、かかりつけ医機能報告制度について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

6 山口県外来医療計画に係る報告について

山口健康福祉センターから、山口県外来医療計画に基づき提出された医療機器の共同利用計画について、報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

7 令和7年度調整会議スケジュールについて

県医療政策課から、令和7年度調整会議の開催スケジュールについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。